

フォトグラファーズ & フォトビジネスフェア

PHOTO NEXT 2026

【開催レポート】

6月16日 [火] - 17日 [水]

パシフィコ横浜 B ホール

主 催 : 株式会社プロメディア

主催団体 : 日本フォトイメージング協会

一般社団法人日本写真映像用品工業会



1. 開催概要

■開催期間：2026年6月16日（火）～17日（水）
搬入日：6月15日（月）

■展示会場：パシフィコ横浜 B ホール

■業界団体併催セミナー会場：2F 会議室

■出展社数と出展小間数：96社 233小間
（テーブル出展含む）

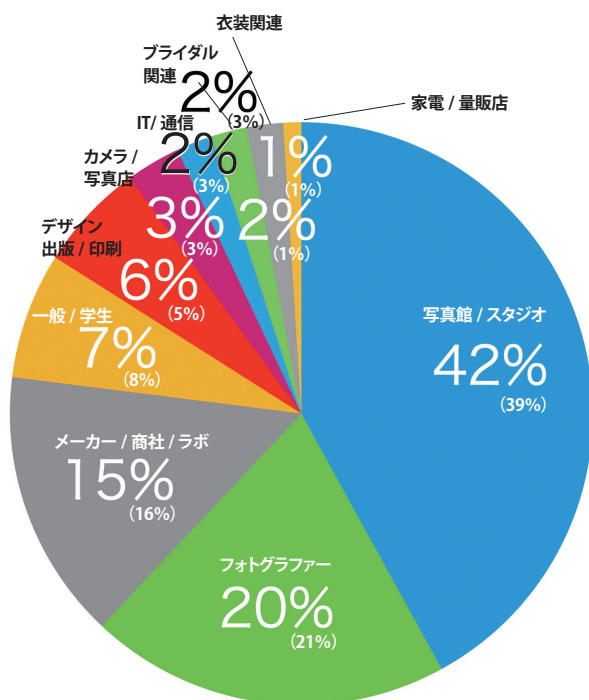
■主催：株式会社プロメディア

■主催団体：日本フォトイメージング協会
一般社団法人日本写真映像用品工業会

■特別協賛：日本営業写真機材協会

■後援：横浜市 東京都

■協力：カメラ記者クラブ
公益財団法人国際文化カレッジ
全国記念写真事業協同組合
全日本写真材料商組合連合会
一般財団法人日本カメラ財団
公益社団法人日本広告写真家協会
公益社団法人日本写真家協会
一般社団法人日本写真学会
協同組合日本写真館協会
公益社団法人日本写真協会
日本写真芸術学会
一般社団法人日本写真著作権協会
一般社団法人日本写真文化協会 ※ 50音順



■登録来場者数：受付で発行した入場者証の実数

	入場者数	前回実績
6月16日	5,564人	5,560人
6月17日	3,768人	3,810人
合計	9,332人	9,370人

■来場者層

・構成比（カッコ内は前回実績）は、写真館／スタジオが42%（39%）、フォトグラファーが20%（21%）、メーカー／商社／ラボが15%（16%）、一般／学生が7%（8%）、デザイン／出版／印刷が6%（5%）、カメラ店／写真店／DPショップが3%（3%）、IT／通信関連が2%（3%）、ブライダル関連が2%（3%）、衣装関連が2%（1%）、家電店／量販店が1%（1%）、となりました。

■取材プレス

・会期中は新聞社やカメラ雑誌社、写真業界誌（紙）など約20社に取材していただきました。

■PR活動

・会期1ヵ月前に「開催案内パンフレット」を約10万部制作し、過去来場者に加え、出展各社の取引先にも広く配布させていただくとともに、業界団体会報誌への同封、フォトギャラリーや横浜市の観光案内センターおよび主要施設でも配布いただきました。また公式ホームページや公式LINEアカウントをはじめSNSにおいて、出展ブース情報やアウトレット出品物、セミナープログラム等を案内しました。

■開催主旨・内容

・「PHOTONEXT2026」は、主催：株式会社プロメディア、主催団体：日本フォトイメージング協会、一般社団法人日本写真映像用品工業会により、前記の概要にて開催されました。

・「フォトグラファーズ&フォトビジネスフェア」のコンセプトを掲げ、「写真の撮影分野と写真関連商品の流通分野を対象に、市場の活性化と需要拡大、さらには展示会とセミナーを通じて撮影に携わるプロフェッショナルとビジネス関係者のレベルアップを図り、あわせて消費者に写真・映像の豊かな喜びを提供し、充実したライフスタイルづくりに貢献する健全な業界形成と発展を目指す」ことを目的に開かれました。

・16回目の開催となった今回、衣装関係をはじめ16社の新規出展があり、多彩な顔ぶれとなりました。

・前回よりもセミナーステージを増やしたことで、約40本のプログラムを用意。2日目の最後のプログラムまで聴講する来場者も多く、今回も滞留時間の長さを印象付けました。業界団体主催セミナーも、前回と同様の規模で実施しました。

・2026のテーマは「SMILE～笑顔と感謝」、さらにサブテーマとして「写真を通じて平和な未来へ」を掲げまし



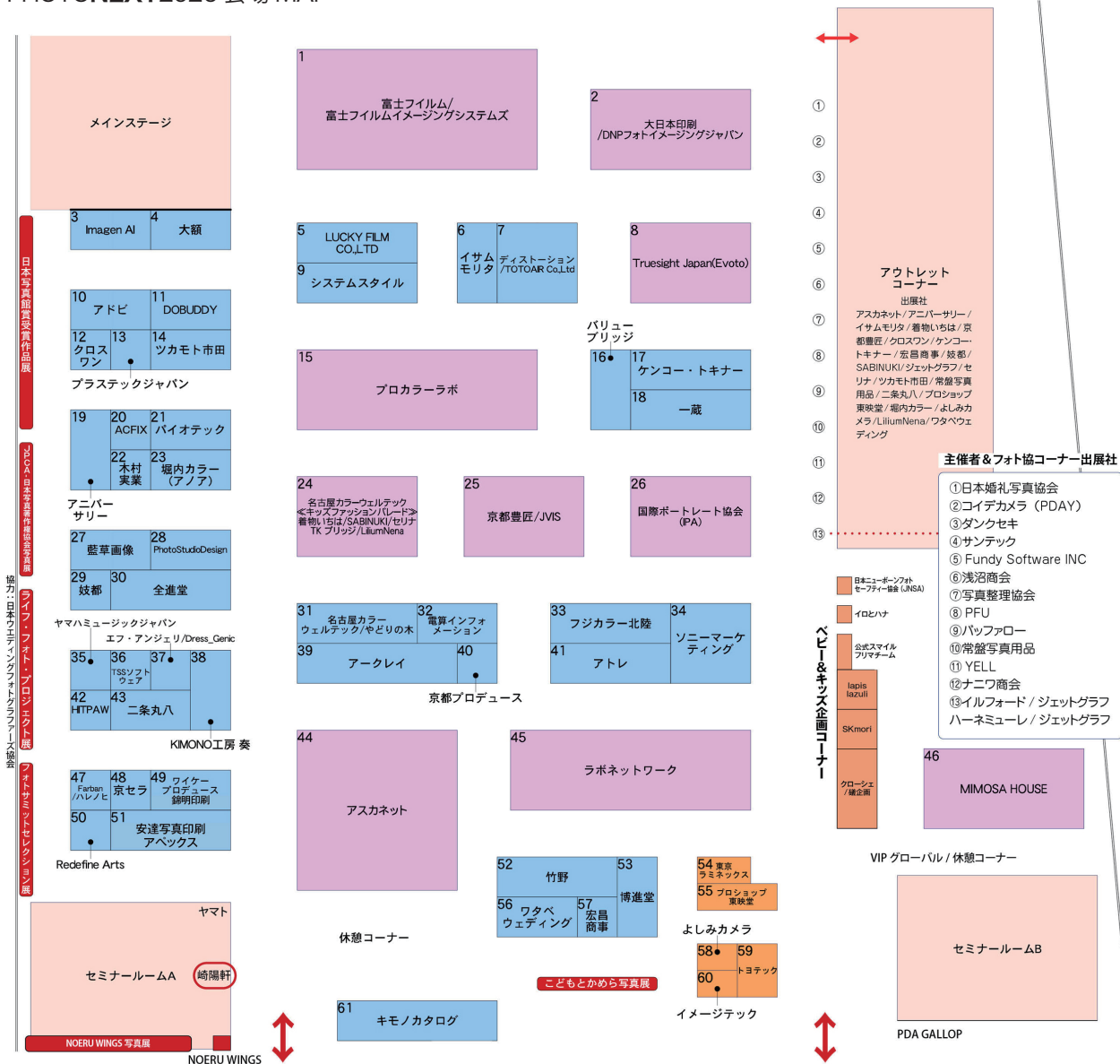
た。かけがえのない一瞬を笑顔と感謝で記録し、カタチにして後世に残すことを目的に考えました。昨今、話題のAIではできない、笑顔と感謝で満たされた平和な世界になるように。私たち人間ができること、それは「笑うこと」と「感謝をすること」です。笑顔は人を幸せにします。感謝の気持ちが相手に伝わると、みんなが嬉しくなります。世界に争いがなくなり、写真を通じて私たちができることを一緒に考える機会となります。

・東京から横浜に会場を移して10年目。今回は「ベビー&キッズ企画コーナー」を新設しました。ニューボーンフォトや七五三をはじめとする記念写真に関連した撮影用品や衣装などを、より来場者にわかりやすくゾーニングすることを目的に設けました。また崎陽軒の販売コーナーも設けたことで、シウマイや炒飯弁当に舌鼓を打つ来場者も多くみかけました。



2. 出展社の展示

PHOTONEXT2026 会場 MAP



・展示ホールでは、最新の写真機材、アルバム、ソフトウェア、プリントサービス、関連用品などが展示されました。日本のプロフェッショナル写真分野に関わるメーカー、商社、ラボ、流通などの各社が参加し、写真館、写真店、DP ショップ、フォトグラファース、ブライダル分野、家電量販店、出版、印刷、デザインなど幅広い層に、最新のビジネス機材 & ソリューションの提案が行われました。

・前回に引き続き AI による画像レタッチを提案して注目を集めた新規をはじめとする出展社も多かったほか、衣装のなかでもとくに和装の展示が目立ちました。そして単に商品を見に来るだけでなく、出展社のほか、同業者



との情報共有を目的に来場される人が今まで以上に多く見られました。商材をいかに有効活用し、売上に結びつけるか。そのための情報収集をより熱心に行なう傾向が顕著に表れています。

3. 展示会場および別会場での開催イベント

メインステージ・プログラム

6月16日（火）	6月17日（水）
【基調講演】 一流はなぜ「プリント」を語るのか？ 世界最高の写真家たちが教えてくれた「視点」の本質とその答え アンドリューファンダーバーグ (Fundy Software, Inc President & CTO)	これからの時代の写真と写真屋の可能性 松本 考司（富士フィルム執行役員 / 富士フィルムイメージングシステムズ代表取締役社長） 立木 宏美（カメラの光盛堂 II） 青木 純（まめくらし 代表取締役 / 大家の学校 校長）
日本写真館賞表彰式 ワールドフォトグラフィックカップ（WPC）表彰式	《特別セッション》KodomotoCameraFes! ・写真x地域xビジネス 地域に愛される新しいフォトグラファーのかたち 松山 佐保（Saho MatsuyamaPhotography） / リンダ（Yellgraphy） ・埋もれない！「任せたい」と思われるニューボーンフォトグラファーの実践法 小倉 美幸（MIYUKI Photo） ・0.2秒で選ばれる世界観マーケティング戦略 おがた さちえ（Photelier） ・爆速納品が叶う！5つのレタッチ時短術 早坂 華乃（プライスレスモメント） / 今井 しのぶ（こどもとかめら）
写真が人の命を残す 平間 至（写真家 / 平間写真館 TOKYO） 石井 正則（俳優 / ナレーター）	
【パイオニアグリーンサークル（PGC）特別セミナー】 「また逢いたくなる」写真館の理念 吉田 圭吾（THE FAVORITE 取締役）	神社撮影で大切な“守るべき一線”を徹底解説&振袖の和装振付け実演！ 三木 文裕（日部神社 / 大阪の神主カメラマン） 北井 一大（photo home kitai / 横浜の和装カメラマン）



・セミナープログラム数は約40本、2日目の最後のプログラムまで聴講する来場者も多く、今回も滞留時間の長さを印象付けました。業界団体主催セミナー（一般社団法人日本写真学会、日本フォトイメージング協会）も、前回と同様の規模で実施しました。

■メインステージ

・その年のPHOTONEXTを象徴する大きなテーマに基づいてセミナー講演を行うステージとして定着しているメインステージ、初日のトップは「一流はなぜ『プリント』を語るのか？ 世界最高の写真家たちが教えてくれた『視点』の本質とその答え」と題した基調講演を実施。講師を務めたアンドリューファンダーバーグ氏は、元フォトグラ



ファーであり、アメリカをはじめ世界中のフォトグラファーが活用するアルバムデザインソフト「FUNDY DESIGNER」の開発者でもあります。今回初めてブース出展、日本でローンチしました。ステージでは、「撮る」だけで終わらせない、アルバム制作を顧客とともに「喜び」に変える新メソッドについて触れました。

・そのほか、「写真が人の命を残す」と題したセッションでは、写真を「撮る」だけでなく「残す」ということの大切さについて、また「これからの時代の写真と写真屋の可能性」というテーマでは、見返されないまま眠っている写真やアルバムを、人生の「資産」として捉え直す写真屋さんの新たな存在意義が生まれることを、聴講者と一緒に考える機会となりました。

セミナールーム A・プログラム

6 月 16 日 (火)	6 月 17 日 (水)
生前遺影のバイオニア× 遺影加工のスペシャリストが語る ～コロナ後の葬儀市場と新ビジネス戦略～ 橘田 龍馬 (イエイ! 写心家®) 青砥 剛 (アスカネット フェューネラル事業部)	絶対他では聴けない! 火事、店舗は完全水没 その時わかった立ち上がるための備え 林 真梨 (ラヴレターズ ライフスタジオ豊川 / 浜松オーナーコーディネーター)
婚活プロフィール写真の最新トレンド “ 選ばれる 写真 ” と ” NG 写真 ” を婚活アドバイザーが解説 脇山 春香 (SMART BRIDAL General Manager) 樋口 綾 (Truesight Japan < Evoto > Marketing Manager)	最高に効率のいい ImagenAI を 使ったポートレート撮影の RAW 現像 イルコ アレクサンダロフ (光の魔術師 フォトグラファー) 協力: Imagen AI
小さなスタジオのための持ち運び 装花で作る撮影バリエーション 岡田 貴子 (おやこスタジオ peekaboo) 協力: イロとハナ	明日の撮影から使える!! 発達障がい・ グレーのお子さまの撮影のヒント! ゴリママ (Gorimama Studio) 協力: NOERU WINGS
惚れる力、惚れられる力 カメラマンがその先につくる仕事の広げ方 太田 多恵 (photo Muse) 中島 優子 (RU-UM NAGOYA)	写真整理、フォトフェューネラル 新たな仕掛けで平和な未来へ! 浅川 純子 (一般社団法人写真整理協会 代表理事)
ママフォトグラファーの私たちが、シニアフォトを撮るわけ — 写真を “ 残す ” こと、プリントの価値 — あおちゃん (あおフォトスタジオ / 青髪カメラマン) 五十嵐たいこ (Precious)	団塊ジュニアがシニアに。未開拓マーケットを 収益の柱に変える生存戦 太田 明良 (えがお写真館 代表)
フォトフェューネラルに求められる在り方 - 家じまいの現場で写真は何かができるのか - 藤田 温 (キオクノキロク) PHOTONEXT 主催者クロストークセッション	

セミナールーム B・プログラム

6 月 16 日 (火)	6 月 17 日 (水)
この一枚、どう作る? カメラマンの頭の中を 公開する生花× ニューボーンデモ 筒井 亜矢子 (スタジオウーム 代表取締役) 協力: ソニーマーケティング	データ販売の限界を突破! AI × デザインによる 「新アルバム販売戦略」 故島 永幸 (WPC WPE AsiaWPA 国際審判員 BIPP フェローシップ) 協力: Fundy Software
ストロボ、LED、三脚など出張カメラマンの アクセサリ活用術 北井 一大 (photo home kitai/ 横浜の和装カメラマン) 協力: ケンコー・トキナー	結婚式や婚礼写真をカタチに残す 価値を次世代に届ける未来ビジョン 神谷 知和 (K+ 統括責任者) 協力: ワイケープロデュース
AI 時代の最適解! ～「現像・レタッチ」編集時間を 8 割削減し、表現力を倍増させるテクニック～ 故島 永幸 (WPC WPE AsiaWPA 国際審判員 BIPP フェローシップ) 協力: 全進堂	プロカメラマン・写真館の業務効率化を 支援する「Photo Select AI」 平松 英明 (スタジオエイメイ代表) 協力: プロショップ東映堂
コストをかけずに集客率を 130%上げる 5 つの秘策 [2026 年 Ver] 中村 竜雄 (成城こそでや代表取締役) 協力: ツカモト市田	売らずとも売れるフォトグッズ設計 坂元 拓海 (高単価カメラマン設計士 Photo St. 継承塾 主宰)
人口減少時代に必要な写真館のイノバートデザイン。 写真館× プライダール 佐々木 宗一 (イノバートデザイン代表取締役 / 駒ヶ根高原古民家ウェディング「音の葉」)	「自宅スタジオという選択肢」 一小さく始めてちゃんと続く写真の仕事ー 保坂 さほ (H.studio フォトグラファー) / 保坂 浩太 (H.office 代表取締役) 司会進行: 山下 亮 (PDA GALLOP 代表取締役社長)



■セミナールーム

・ 出展社が主体となつて行う公開セミナーは、単なる自社製品の PR を行うのではなく、外部講師を招いて実施することで、多くの来場者を吸引しました。今回は 11 社がエントリーし、生前遺影のパイオニアと遺影加工のスペシャリストが語るコロナ後の葬儀市場と新ビジネス戦略や、AI を使ったポートレート撮影の RAW 現像などが繰り広げられました。

・ 前述した内容以外にも、AI 時代の最適解として現像およびレタッチの編集時間を 8 割削減し、表現力を倍増させるテクニックや、団塊ジュニアがシニアとなるなか、未開拓マーケットを収益の柱に変える生存戦略など、AI に関する最新テクノロジーや前回掲げたフォトフューネラルの最先端を披露。さまざまな視点から、普遍的なテーマとして掲げる「写真をカタチに残す価値」をクローズアップしました。

■アウトレットコーナー

・ 出展社が現行品以外の商品を出品する人気の物販コーナー。今回は 20 社が出展し、前回と同様、撮影機材や撮影用小物のほか、振袖やドレス、子ども服などの衣装も多数販売されました。



・ 今回も、いち早くお買い得商品をゲットしようとする来場者で長蛇の列ができました。出展社のなかには初日にほぼ完売したため、翌日に商品を補充し、売上にプラスアルファとなっていたところもありました。

■ギャラリー

・ 毎回、大勢の来場者から注目を集めている「こどもとかめら写真展」「日本写真館賞受賞作品展」「日本写真著作権協会写真展」に加え、今回は新たな企画として「記録を超え、記憶に刻む。人生を動かす一枚」をテーマとした公募展「PHOTO SUMMIT Selection」の特別展示や、支援が必要な子どものための写真スタジオ & 出張フォトグラファーポータルサイト「NOERU WINGS」写真展を実施しました。

・ 今回のメインビジュアルは、2025 年夏に開催した PHOTO SUMMIT にて、プロアマからの応募作品より選出しました。

・ 前回に引き続き作品展示した一般社団法人日本ウェディングフォトグラファーズ協会は、結婚後の家族のストーリーを描く「ライフ・フォト・プロジェクト展」を開催。ウェディングフォトグラファーの新たな表現を示唆する機会となりました。



■有料セミナー

・今回も6本のプログラムを2F会議室で実施。人気のニューボーンフォト関連や婚礼和装振付けのほか、今回は「SNSでは語れない! 感性とビジネスから選ばれるフォトグラファーと収益のリアル」や「狭い、暗い、古いを逆手に取った、ママが涙する魔法のクロージング」と題した女性フォトグラファー兼経営者のセミナーも行なわれました。このうちの後者は、赤ちゃんの立体手形&足形の制作フローが初披露されました。



■業界関連セミナー

・以上の各セミナーのほかに、業界関連団体主催のセミナーも併催。日本フォトイメージング協会主催セミナーは6月16日に計3セッション、一般社団法人日本写真学会から主催によるセミナーは6月17日に計6セッション行なわれました。



4. 2027 年に向けて

・次年度の開催は、パシフィコ横浜 B ホールで、6月22日(火)～23日(水)の2日間、搬入日は同21日(月)に決定いたしました。

・テーマは「共存共栄」を考えています。同業者は良きライバルであり相談相手でもあります。物価高をはじめ世界情勢が不安定ななかでも、一致団結して創意工夫をすることで、荒波を乗り越え、新しい価値の創造につなげたい、そんな想いを込めております。

・主催および主催団体は、定期的に行行委員会を開いて開催の準備活動を行ってきました。引き続き実行委員会での各種企画立案、準備作業を中心にして、さらに充実したフォトグラファーズ&フォトビジネスフェアの開催を目指します。

